

令和2(2020)年

11月号

No.708

第2代ひたちおた
スマイルメイツ

広報
ひたちおたが
WEBでも読める



広報 ひたちおた

新しい地域コミュニティの
取り組みについて
手を取り合い、
ともに笑おう

Let's SMILE! 

私たちが
第2代スマイルメイツです!!



常陸太田市の お財布事情



～令和元年度決算概要と
令和2年度予算執行状況～

おめでとうございます・・・P6
TOPICSP8
えんじたちのスマイル・・・P23

特集

手を取り合い、ともに笑おう

新たな地域コミュニティの 取り組みについて

近年の急速な少子高齢化や人口減少、地域での支え合いの希薄化などにより、さまざまな地域課題が生じています。そんな課題の解決に大きく寄与するのが新たな「地域コミュニティ」です。手と手を取り合い、力を合わせて歩いていく、市内地域コミュニティの個性豊かな取り組みを紹介します。



地域コミュニティとは？

従来の町会や公民館、子ども会、老人クラブなどといった「地域で活動する団体」を繋げ、地域のさまざまな課題解決に向けて活動に取り組む協議体です。本市では地域コミュニティの設立・活動を推進しています。地域コミュニティを設立することで、これまで個々では難しかったさまざまなことを計画・実施することも可能になります。市内では、平成26年に3地区でスタートして以来、現在、19地区のうち8地区が地域コミュニティを設立。各地域コミュニティでは、防犯・防災、福祉や健康づくり、生涯学習や各種スポーツなど、幅広い分野にかかわる多くの団体が互いに連携して、より住みよい地域を目指し自主的に活動しています。

地域コミュニティ
活躍しすぎー！



Report 1

久米の郷住み良い 地域をつくる会

広報紙を通じて、自主的に地域を知り、
地域と関わる「興味づくり」



久米の郷住み良い地域をつくる会
会長 斉藤公男さん

9町会から成る久米地区で設立。久米小すぐ前の久米地域交流センターを拠点に活動しています。同会の大きな特徴が、年3回発行する広報紙「久米の郷」の編集体制。各町会の副町会長が編集委員として名を連ね、積極的に制作へ参加しています。「単なる活動報告だけの内容にはせず、読んだ人を動かす広報紙づくり」がモットー。広報紙づくりを通して、「地域に興味を持ち、地域のことを一緒に考える」というコミュニティの礎も築いています。

久米小学校・金砂郷中学校がある同地域ならではの特徴として、学校を中心にしたコミュニティ活動も挙げられます。「小学校では総合的な学習の時間を活用してグラウンド・ゴルフ交流会を開催したり、幼稚園への手作りボールダリング設置など積極的に関わりを

持つて色々な活動を一緒にに行っています」と同会の斉藤会長。交流センターは児童からお年寄りまでみんなが気軽に立ち寄れる遊び場としても親しまれており、地域全体を巻き込んで子どもたちを見守る環境づくりがなされています。11月20日まで開催中の同会美術展では、学校とも連携し小学生から大人まで地域みんなの作品を展示中。地域の三世代でふれ合える場を創出する試みとなりました。



賀美を 愛する会

耕作放棄地を活用してエゴマを栽培、
地域の笑顔と健康をつくる場所

今後も
地域交流の場を
設けていきます。



賀美を愛する会 会長
田所美朗さん

折橋・小菅・上深荻大菅の各町
会と関連団体が構成する「賀美
を愛する会」。設立に至るまでに
は「上から目線で押し付けず、
なるべく多くの住民で話し合い
たい」と何度も会議を重ねたと同
会の田所会長。「賀美を愛する会」
という名前も公募で決めたそう。

賀美地区の地域や家族の絆を深
めるために、人が集まる場所を
作ろうと行事を計画。平成30年
には盆踊り等を主体にした賀美ま
つり、令和元年度には賀美フェス
ティバルとして運動会や農産物品
評会を開催しました。「子どもか
らお年寄りまでみんなで参加でき
るイベントを」という目的の通り、
賀美フェスティバルは300人が
集い盛況。「自分たちで計画・実
行するのは大変だけど、当日はみ
んな笑顔。これが見たくてね」と
笑う田所会長。今後も、地域交

流の場を計画していきたいと話
します。
また、賀美地区では有志で「里
美エゴマ栽培愛好会」を設立。コ
ミュニティと連携して耕作放棄地
を利用しエゴマ栽培を行っています。
「賀美の人はすぐ働く者。
身体を動かすのは健康にも良いと
みんな栽培に協力してくれます」
と会長。エゴマ油は健康に良いと
話題。同会でもエゴマ油の商品化
を目指しており、地域活動の発
展が期待されています。



高倉地域 づくりの会

外出支援サービスの先駆け、
「ここに住んでよかった」と言われる場所に

安心して使える
外出支援サービスを
提供します。



高倉地域づくりの会 会長
井上幸則さん

水府地区北部の高倉で平成26年
に設立した「高倉地域づくりの
会」では、全国的にも珍しい「外
出支援サービス事業」を行ってい
ます。

地域が実施する事業としては全
国で2例目、県内初の試みです。
運転から予約、車両管理まで全
て同会が自主運営。週1回・毎
週火曜日に、高倉地域内の予約
者の自宅玄関まで迎えに行き、水
府地区内の目的地玄関前まで運
ぶドアツードア方式。利用料は距
離に関わらず1回300円です。

当初は「利用する人なんている
のか」と不安もありましたが、
今では利用者が増え通院や買い
物など便利に使ってもらっていま
す」と同会会長の井上さん。特
にドアツードアが「大変ありがた
く、時間も有効に使える」と好評。
また、運転も予約窓口も利用者

もみんな「顔見知り」だから安
心して使えることも利点と言いま
す。「同乗者と色々話せますし、
顔を見る機会を作ることでも不安
確認にもなります」。今後の課題
は、運転手の確保と運行管理。
特に運転手の確保はサービス継続
のため至上命題です。

今では「こんなサービスを受けら
れるなんて、高倉に住んでいてよ
かった」という声もあります。地
域コミュニティは、旧来では叶わ
なかった可能性を広げる役割も
担っています。



市内地域コミュニティの活動について

前項で紹介した3団体のほか、市内5団体よりコミュニティについてコメントを寄せていただきました。今年はこれまでにない状況下での活動を余儀なくされていますが、それぞれの地域が結びつきを強固に前へ進んでいます。



小里コミュニティ推進会

会長 高星隆夫

今年度、会長に就任いたしました高星と申します。小里コミュニティ推進会は6町会で構成されており、町会長始め各種団体の代表者等、皆さんのご意見をいただきながら会の発展に尽くしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染拡大に伴い今年度の会議や行事は、延期や中止または計画の見直しを余儀なくされ、年度当初の役員会や総会においては書面表決を行い、年度計画の内、三密を回避できない屋内行事やバス利用の行事および大人数の行事については中止することとし、後期事業も感染防止対策を講じ取り組むこととしました。

また当地区は、少子高齢化が急速に進み高齢者や高齢夫婦の世帯が大半であり、昨年の台風19号の避難行動に混乱が生じたことを踏まえ、地元の防災対策、避難時の対処などについて、町会長の皆さんと協調し研修等を重ねなければと確認したところです。



コミュニティ金郷

会長 堆勝一

一昨年の設立から二年経過しました。計画した主な事業は、きれいな環境づくりとしての「花壇整備」、地区民の健康づくりと交流を図る「健康教室・球技大会」等、地域愛を育む「歴史教室」、安全・安心な地域づくりのための「総合防災訓練」、地元産の素材を活用した料理教室「ヒザ焼き・そば打ち」や日本の文化・科学技術等を学ぶ「視察研修」、そして「広報誌発行」等です。その中で、健康教室、球技大会、総合防災訓練、料理教室、視察研修を感染症予防対策の観点から中止にいたしました。

課題としては、地域課題や地区民のニーズの把握、それらを踏まえた事業計画、住みよい地域づくりにつながる道筋の作成その他、感染症が収束しない中で、安全・安心を確保していくかに二つの事業を展開するかが挙げられます。今回実施する歴史教室がその第歩であり、住みよい地域づくりに向けて、実施可能な事業を増やしていきたいと思っております。



天下野コミュニティ

会長 小川守

新型コロナウイルスの感染が拡大している最中、会長に就きました。今後の事業活動について、役員会・協力員会議で協議したところ、三密の回避が図れる野外事業のグラウンド・ゴルフならば実施できるのではないかと提案がありました。現に老人会等では15人前後の人数で毎週グラウンド・ゴルフを行っている経過もあります。

新型コロナウイルスの恐怖で、地域全体が委縮し活気を失いつつある状況下、地域住民の親睦と健康増進にもなるだろうし、なによりもみんなの元気な姿を確認しあえる機会になるだろうとの意見で、11月に開催することに決まりました。

天下野地区は、年々少子高齢化が進み、コミュニティの事業活動等に支障が生じているのが頭の痛いところ。そのような中で、今後どのような形の事業活動ができるか、地域住民の方々のご意見を賜り、役員会・協力員会議でしっかりと協議し、実行したいと考えています。



染和田コミュニティ

会長 豊田正名

染和田コミュニティは、令和元年7月28日に設立しました。染和田コミュニティとしての実質的なスタートは令和2年度からとなりましたが、今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響から上期の活動はほとんどが中止の事態となりました。下期は、感染予防対策を講じながらスポーツイベント等を中心にコミュニティ活動を行うこととしております。

さて、染和田地区においても少子高齢化や人口減少が進み、地域コミュニティをどのように維持・発展させるかが大きな課題となっております。従来の公民館活動に加え、防災や福祉活動など新たな事業に取り組むことにより、地域住民の交流の輪をさらに広げていきたいと考えております。また、新型コロナウイルスの時代に即した運営方法を模索してまいります。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。



山田コミュニティ

会長 小林正典

山田コミュニティは今年6月、新型コロナウイルス禍のなか、設立されたばかりの組織です。

設立準備会の当初、半世紀以上の先人が確立してくれた公民館を廃止し、新たな組織がなぜ必要なのか、疑問や拒否反応的な雰囲気もありました。しかし、会合を重ね議論が深まる中で、社会教育法の趣旨に限定された公民館活動の範囲を超えた、多種多様な問題や意見が出てきました。

意見の相違があるものの、この広範囲な問題を先送りしないためには、公序良俗に反しない限り自由に活動ができるコミュニティの設立が必須であるとの結論にいたりました。

新たに生まれた新組織が、公民館同様、何年か先の人々に、さらに自由な活動が可能なビジネスやNPO法人設立の基礎を作ってくれたと喜ばれるよう、山田コミュニティ発展のため、皆さんとともに頑張っていく所存です。



市民協働推進課では、地域コミュニティの活動や設立に対する支援を行っており、太田地区では地域コミュニティの設立に向けて話し合いを続けています。

地域コミュニティの活動について興味のある方は市民協働推進課までお気軽にお問い合わせください。

また、市内における市民活動の情報やまちづくり事業等については「常陸太田市民活動ネット」で知ることができます。





市政発展の功労者を表彰

9月30日、生涯学習センターで条例表彰式が行われ、長年にわたり市政の発展に尽力された77人・3団体の方々の功績をたたえ、表彰状・感謝状が贈られました。

*敬称略・順不同

【自治功労表彰】

◆教育委員会委員として地方自治の振興発展に寄与…稲田昌孝(西三町)

【一般表彰】

① 地方自治の進展

◆多年町会長として地方自治の進展に尽力…黒羽清(高柿町)

◆多年統計調査員として地方自治の進展に尽力…平井克子(天神林町)／佐川榮(町屋町)／茅根泰(中利員町)／五十嵐馨(松平町)／茅根猛(芦間町)／齋藤軍一(大平町)／小林宏平(馬場町)／篠原久美子(谷河原町)／森康昭(常福地町)／大内昭(島町)／小林久(瑞龍町)

② 社会福祉の増進、民生の安定

◆多年民生委員児童委員として社会福祉の増進に尽力…井上久夫(下高倉町)／鈴木一(折橋町)／藤田洋

子(小菅町)／森山美恵子(上河合町)／福田幸子(大森町)

◆多年ボランティア活動をとおして社会福祉の増進に尽力…手話サークルサフラン(亀作町)／サロンおたがいさま(磯部町)／おもちゃ図書館ポランティアあそび(大里町)

③ 治安の維持、災害防止

◆多年消防団活動をとおして地域防災に尽力…小山廣(町屋町)／吉澤一徳(東染町)／荷見好嗣(里川町)

【感謝状】

① 地方自治の進展

◆地域コミュニティ会長として活力ある地域づくりの発展に尽力…須藤保弘(下利員町)／渡邊安彦(天下野町)

◆町会長として地方自治の進展に尽力…室井保二(中城町)／小蘭壽嗣(花房町)／森右博(馬場町)／根本克之(葉合町)

◆副町会長として地方自治の進展に尽力…富永秀夫(馬場町)

◆統計調査員として地方自治の進展に尽力…清水均(天神林町)／茅根隆(芦間町)／小林英雄(下高倉町)／金沢忠行(谷河原町)／菊池武利(天下野町)／鈴木三天(増井町)／

河井正義(東染町)／根本宏見(西河内中町)／大畠重夫(三才町)／石川均(国安町)／大内道弘(内田町)／稲川勝久(上河合町)／石井正和(久米町)／和田勝夫(中染町)／平根光(松平町)

② 社会福祉の増進、民生の安定

◆民生委員児童委員として社会福祉の増進に尽力…大須賀克己(東二町)／横山節子(寿町)／生田目恭子(幡町)／田村俊男(亀作町)／小林隆男(天下野町)／高星隆夫(小中町)／高倉好文(小妻町)／大津義美(幡町)／小田部ヨシ子(岡田町)／山田英子(下河合町)／中村光子(磯部町)／助川聡子(馬場町)／増子光昭(茅根町)／深澤菊(西河内上町)／石井智恵子(久米町)／茅根克輔(芦間町)／澤畑仁子(松栄町)／綿引俊子(中野町)／大串睦美(高柿町)／富山美代子(箕町)／富田雅弘(上利員町)／平山義光(棚谷町)／後藤弘一郎(国安町)／會澤久美子(中染町)／小林敏子(下高倉町)／井上幸則(下高倉町)／藤田謙一(上高倉町)／生熊美智子(大中町)

◆人権擁護委員として社会福祉の増進に尽力…安西典子(上宮河内町)

③ 教育、文化、道義の向上

◆公民館長として社会教育の充実に尽力…森山勝(上河合町)／森史(町屋町)

◆社会教育委員として社会教育の充実に尽力…黒澤貴子(白羽町)／豊田洋子(小妻町)／佐川悦子(折橋町)





おめでとうございます



9月24日、東京都で行われた令和2年全国地域安全運動中央大会で、関根敬純さん（東連地町）が防犯功労者（防犯栄誉金章）として表彰されました。これは関根さんが長年にわたり地域安全活動に尽力し、安全で安心な街づくりに貢献した功績が認められたものです。

防犯功労者
（防犯栄誉金章）表彰



ひたち太田家庭医療診療所：
片岡 恵さん

西山堂病院：
江畑 智登さん

大山病院：
袴塚 直子さん

救急の日および救急医療週間にあたり、長きにわたり救急医療現場で活躍されている次の方々に対し、消防本部より感謝状が贈呈されました。表彰者は次のとおりです。

救急医療功労者を表彰



（左から）教育長、木村さん、生天目さん、市長、野田さん、西野さん

- ◆ 共通男子3000m：
- 1位 生天目温さん（金砂郷中2年）
- 2位 木村駿太さん（太田中2年）
- ◆ 共通男子走高跳：
- 5位 西野心陽さん（金砂郷中2年）
- ◆ 男子100m
- 4位 野田奏さん（金砂郷中1年）

県中学校新人体育大会で入賞

10月1・2日に笠松運動公園で県中学校新人体育大会陸上競技の部が行われ、次の皆さんが入賞しました。



「時間がかかって大変だったけど、賞をもらって嬉しい」と話してくれました。

県統計グラフコンクールで
県知事賞

県統計グラフコンクールにおいて、和田実花さん（機初小2年）の作品につかれてもたのしいーひさしぶりの学校〜休みの間どうしていた？」が県知事賞を受賞しました。和田さんは、「時間がかかって大変だったけど、賞をもらって嬉しい」と話してくれました。

給食で常陸牛の牛丼に舌鼓

10月15日、市内中学校の給食で、茨城を代表するブランド牛「常陸牛」を使用した牛丼が提供されました。常陸牛を使った牛丼は、新型コロナウイルスの影響で打撃を受けた肉用牛農家の経営安定と県産和牛の消費拡大を図る県の事業を活用したもので、普段の給食では味わえないメニューです。生徒たちは、肉質がきめ細やかで柔らかく風味豊かな牛丼を、市産コシヒカリのごはんに乗せて味わいながら食べていました。



幸久幼稚園児が芋掘り

10月20日、幸久幼稚園の年長児がさつま芋掘りを行いました。子どもたちは「採るのは大変だったけど、大きなお芋が採れて嬉しい」と収穫したさつまいもを大事に抱えました。



森林環境譲与税の用途等について協議

9月25日、常陸太田市明日の森林を考える会が森林環境譲与税の用途等について協議しました。7月に開催された若手ワーキンググループの検討内容を踏まえ、今後取り組む事業などについてさまざまな意見を交わしました。





もち米を収穫

9月26日、松栄町会・松栄子供会・松栄大わらじ保存会が参加し、田んぼの稲刈りを行いました。参加した方は、おだ掛けなどの作業に楽しみながら取り組みました。今回収穫したもち米は、松栄子供会が12月に餅をついて鏡餅とし、鎌倉の大仏で知られる高德院に奉納します。また、昨年の台風第19号の際の支援活動に感謝を含め、市社会福祉協議会に約150kgのもち米を寄贈しました。



うまいもん市が開催

10月11日、道の駅ひたちおおたで第1回うまいもん市が開催されました。当日は市内の飲食店など8店が参加し、定番メニューなどを販売。多くの来場者が立ち寄り、賑わいました。



第2代ひたちおおたスマイルメイツを紹介

10月1日、「第2代ひたちおおたスマイルメイツ」の3人に委嘱状が手渡されました。「ひたちおおたスマイルメイツ」とは、市の観光や魅力を発信するため観光大使として活動する方のことで、これから2年間活動します。



栗原和さん
常陸太田市の魅力を伝えていきます！
よろしくお祈りします！！
栗原和



荻津由美さん
常陸太田市の魅力をより多くの人に知ってもらい、体感してもらえらる様に頑張りたいと思います。
よろしくお祈り致します。
荻津由美



山口麻理子さん
東京から移って参りました。常陸太田は魅力も秘かに有ります。多くの方にその魅力をお伝えできたら頑張りますので応援にお願いします。
山口麻理子

令和元年度決算の概要

お財布事情



市の
財政は
大丈夫?

今のところ健全に運営していますが、決して余裕があるとは言えません

自治体の財政状況を示す「健全化判断比率等」は健全な数値ですが、市税などの自主財源が少なく、地方交付税や国県支出金などの依存財源に頼っている状況です。

■ 健全化判断比率等(令和元年度決算)

指標	内容	常陸太田市	早期健全化基準*
実質赤字比率	一般会計における赤字の割合	赤字なし	12.80%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	17.80%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	1.9%	25.0%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	該当なし	350.0%
資金不足比率	公営企業の資金不足額を表す割合	資金不足なし	20.0% (経営健全化基準*)

*これらの基準を超えると健全化に向けた取り組みが必要になります。

■ 財力指数 0.41

標準的な行政サービスをするためのお金を、自ら賄える割合

*県内32市中32位(県内市平均0.72)

■ 経常収支比率 91.3%

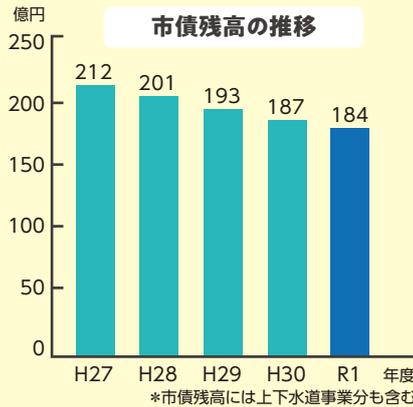
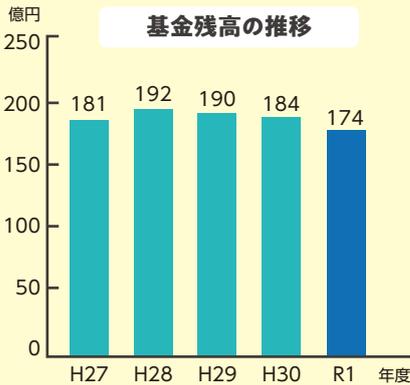
市債の返済など義務的な経費に、市税など経常的な財源が充てられる割合

*県内32市中22位(県内市平均 92.6%)

市の貯金や
借金は?

貯金(基金)は微減、借金(市債)は年々減少

市の一般会計に係る「貯金(基金)」の残高は、平成28年度から減少となり、前年度と比べ9億6,911万円減りました。「借金(市債)」は年々着実に減少しており、前年度より2億6,247万円減りました。今後も財政状況を考慮しながら運営していく必要があります。



今後の
見通しは?

歳入増はあまり見込めず、節約が必要です

人口減少などにより、市税の増収は見込めない中で、高齢化に伴う医療や福祉などにかかるお金、施設の老朽化に伴う維持・更新、道路の整備などにかかるお金などが増える見込みです。限られた財源を効率的・効果的に活用していく必要があります。

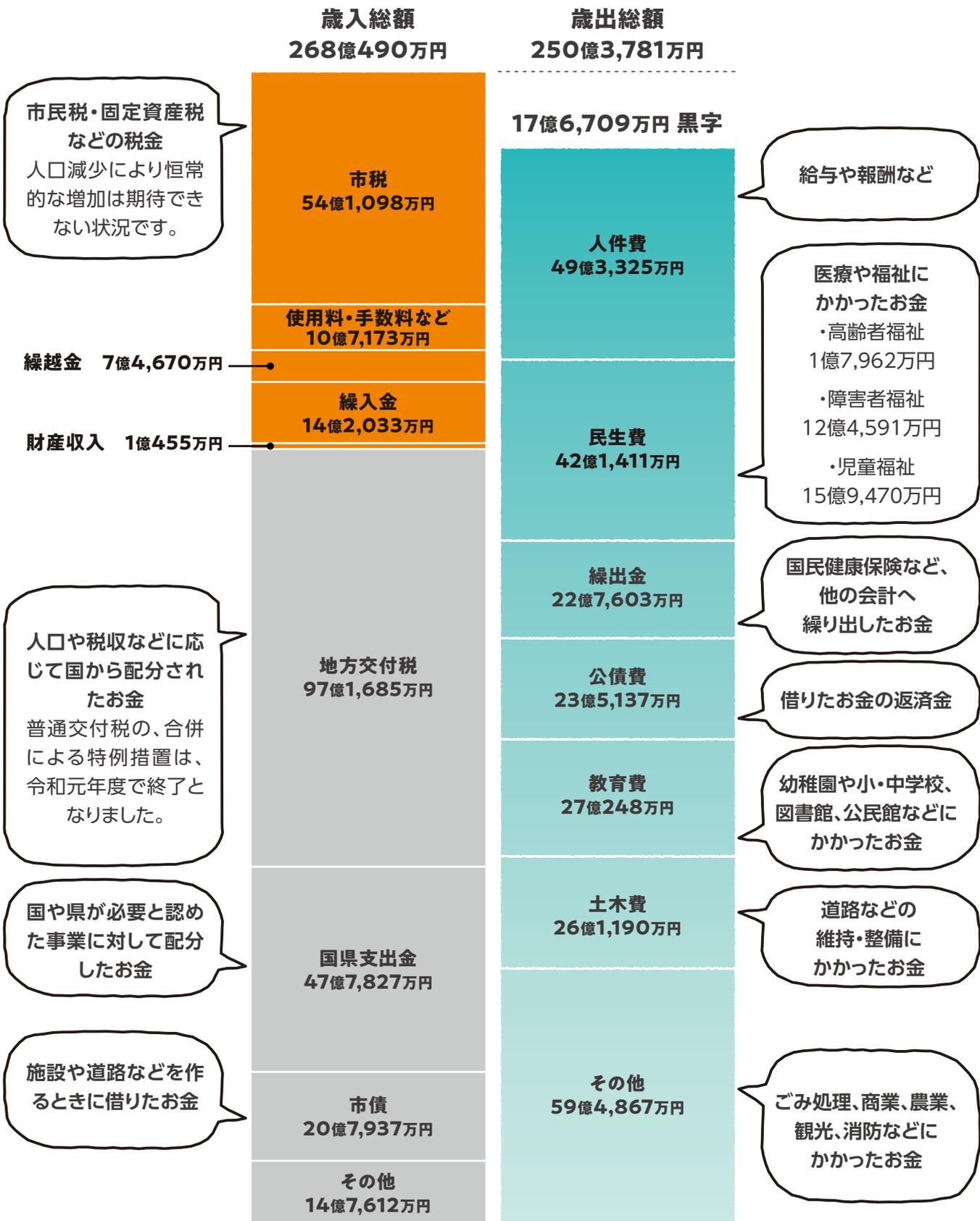
市では毎年2回、財政状況について公表し、市民の皆さんが納めた税金が、どのように使われているのかをお伝えしています。今回は常陸太田市の令和元年度決算の概要と令和2年度予算の執行状況をお知らせします。

問 財政課財政係(内線318・319)

一般会計

歳入から歳出を引いた収支17億6,709万円のうち、12億840万円を令和2年度に繰り越し、5億5,869万円を貯金しました。

自主財源 32.7% 依存財源 67.3%



特別会計

すべての会計において、赤字は生じていません。

区分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比
国民健康保険	58億1,160万円	△5.0%	56億4,926万円	△5.1%
後期高齢者医療	7億695万円	2.0%	7億451万円	2.0%
介護保険	59億5,938万円	1.6%	58億7,435万円	2.9%
合計	124億7,793万円	△1.6%	122億2,812万円	△1.0%

国民健康保険	令和元年度平均	平成30年度平均
被保険者数	12,420人	12,921人
一人当たり医療費	379,403円	361,296円

介護保険	令和元年度平均	平成30年度平均
被保険者数	18,848人	18,700人
一人当たり医療費	287,498円	284,850円

後期高齢者医療	令和元年度平均	平成30年度平均
被保険者数	10,241人	10,208人
一人当たり医療費	841,353円	826,650円

*各特別会計の歳出決算額には、委託費や事務的経費なども含まれているため、被保険者数で割っても一人当たり医療費・給付費とは一致しません。

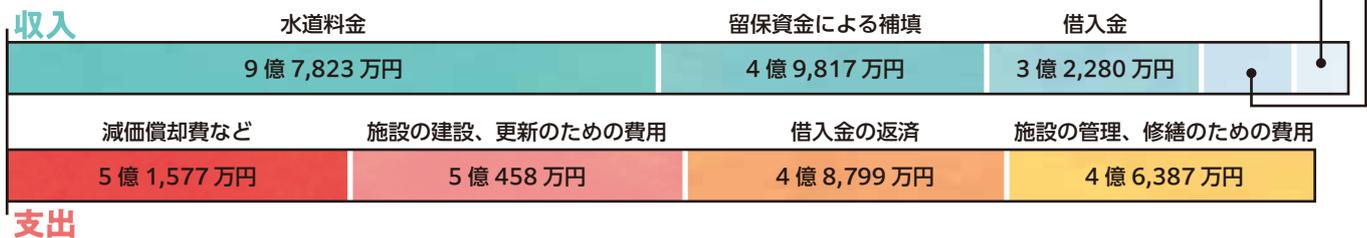
令和元年度

■上下水道総務課総務企画係(内線517・518)

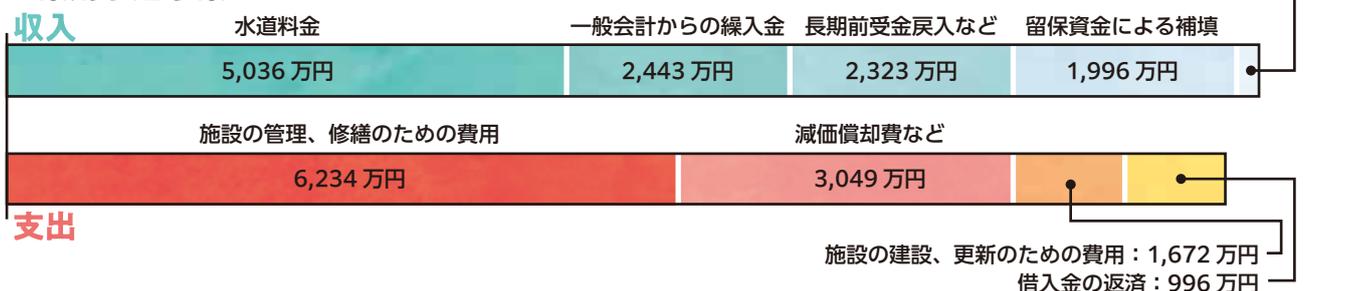
上下水道事業決算の状況

令和元年度の決算は、全ての事業が黒字決算となりました。しかし、給水人口の減少に伴う水需要の減少などにより、水道料金や下水道使用料だけでは事業経営が厳しいため、簡易水道事業や下水道事業等については、一般会計から多くの補助金等を繰り入れて経営をしている状況です。

水道事業



工業用水道事業



一般会計【歳入】

区分	予算現額				収入済額	収入率
	当初予算額	補正予算額	繰越額	計		
地方交付税	89億8,300万円	5億5,823万円		95億4,123万円	65億829万円	68.2%
市税	52億6,099万円			52億6,099万円	32億2,504万円	61.3%
市債	25億4,770万円	△3,829万円	6億8,750万円	31億9,691万円		0.0%
国県支出金	47億3,059万円	58億1,359万円	11億7,304万円	117億1,722万円	67億269万円	57.2%
その他	42億3,472万円	4億1,412万円	6億4,972万円	52億9,856万円	29億4,270万円	55.5%
合計	257億5,700万円	67億4,765万円	25億1,026万円	350億1,491万円	193億7,872万円	55.3%

一般会計【歳出】

区分	予算現額				支出済額	支出率
	当初予算額	補正予算額	繰越額	計		
民生費	76億4,963万円	1億6,939万円		78億1,902万円	32億4,955万円	41.6%
公債費	23億6,706万円	△1,464万円		23億5,242万円	11億1,825万円	47.5%
総務費	26億7,490万円	57億4,609万円		84億2,099万円	61億3,174万円	72.8%
土木費	38億1,950万円	3億2,591万円	10億2,806万円	51億7,347万円	7億2,335万円	14.0%
教育費	32億5,474万円	2億4,591万円	1億2,242万円	36億2,307万円	10億5,269万円	29.1%
衛生費	30億2,989万円	5,693万円	200万円	30億8,882万円	4億7,839万円	15.5%
災害復旧費	9,922万円		12億8,601万円	13億8,523万円	5億2,008万円	37.5%
その他	28億6,206万円	2億1,806万円	7,177万円	31億5,189万円	11億2,154万円	35.6%
合計	257億5,700万円	67億4,765万円	25億1,026万円	350億1,491万円	143億9,559万円	41.1%

特別会計

区分	予算現額			収入済額	収入率	支出済額	支出率
	当初予算額	補正予算額	計				
国民健康保険	54億2,284万円	8,604万円	55億888万円	21億2,622万円	38.6%	19億2,759万円	35.0%
後期高齢者医療	8億3,411万円	66万円	8億3,477万円	2億8,876万円	34.6%	2億6,957万円	32.3%
介護保険	60億円	4,566万円	60億4,566万円	31億5,272万円	52.1%	24億5,389万円	40.6%
合計	122億5,695万円	1億3,236万円	123億8,931万円	55億6,770万円	44.9%	46億5,105万円	37.5%

市有財産

区分	内容	区分	内容
土地	約581ha	歳計現金	58億9,977万円
山林	約630ha	各種基金	183億2,229万円
建物	261,590㎡	有価証券	8,706万円



公営企業会計【水道事業】

区分	予算現額	執行額	執行率
収益的	収入 12億434万円	5億5,184万円	45.8%
	支出 11億8,643万円	3億4,627万円	29.2%
資本的	収入 2億1,578万円	0万円	0.0%
	支出 7億1,421万円	4億1,915万円	58.7%

【工業用水道事業】

区分	予算現額	執行額	執行率
収益的	収入 1億739万円	3,261万円	30.4%
	支出 1億645万円	3,485万円	32.7%
資本的	収入 1,888万円	0万円	0.0%
	支出 3,102万円	1,769万円	57.0%

【簡易水道事業】

区分	予算現額	執行額	執行率
収益的	収入 3億5,069万円	6,166万円	17.6%
	支出 3億4,712万円	8,488万円	24.5%
資本的	収入 1億3,043万円	450万円	3.5%
	支出 1億7,014万円	9,498万円	55.8%

【下水道事業等】

区分	予算現額	執行額	執行率
収益的	収入 18億6,939万円	2億2,178万円	11.9%
	支出 15億6,942万円	3億1,929万円	20.3%
資本的	収入 12億8,053万円	7,670万円	6.0%
	支出 16億2,793万円	10億1,161万円	62.1%